



## 令和5年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和4年11月11日

上場会社名 高圧ガス工業株式会社 上場取引所 東  
コード番号 4097 URL <https://www.koatsugas.co.jp>  
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)黒木 幹也  
問合せ先責任者 (役職名)常務執行役員管理本部長 (氏名)池田 佳弘 (TEL) 06-7711-2570  
四半期報告書提出予定日 令和4年11月11日 配当支払開始予定日 令和4年12月9日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 令和5年3月期第2四半期の連結業績(令和4年4月1日～令和4年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
5年3月期第2四半期	44,021	12.2	2,443	6.2	2,981	13.6	1,980	△4.1
4年3月期第2四半期	39,219	8.4	2,299	42.7	2,624	40.9	2,066	72.4

(注) 包括利益 5年3月期第2四半期 1,918百万円(△21.7%) 4年3月期第2四半期 2,452百万円(43.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
5年3月期第2四半期	円 銭 35.87	円 銭 —
4年3月期第2四半期	37.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
5年3月期第2四半期	百万円 101,632	百万円 67,374	% 65.6
4年3月期	98,400	65,901	66.3

(参考) 自己資本 5年3月期第2四半期 66,747百万円 4年3月期 65,286百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
4年3月期	円 銭 —	円 銭 8.00	円 銭 —	円 銭 8.00	円 銭 16.00
5年3月期	—	8.00	—	—	—
5年3月期(予想)	—	—	—	10.00	18.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 令和5年3月期(予想)の期末配当金の内訳 普通配当 8円00銭 記念配当 2円00銭

### 3. 令和5年3月期の連結業績予想(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	87,000	5.4	5,100	8.0	5,600	3.6	3,800	△8.4	68.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 ー 社 (社名) 、除外 ー 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

5年3月期 2 Q	55,577,526株	4年3月期	55,577,526株
5年3月期 2 Q	373,494株	4年3月期	373,450株
5年3月期 2 Q	55,204,069株	4年3月期 2 Q	55,204,277株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、第2四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され、経済活動に回復の動きが見られたものの、中国主要都市のロックダウンによるサプライチェーンの停滞、ロシア・ウクライナ問題の長期化による資源価格等の高騰や円安の急激な進行などにより、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間の売上高は440億21百万円（前年同期比12.2%増加）、営業利益は24億43百万円（前年同期比6.2%増加）、経常利益は29億81百万円（前年同期比13.6%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は19億80百万円（前年同期比4.1%減少）となりました。

当第2四半期連結累計期間における、セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ① ガス事業

ガス事業を取り巻く環境は、半導体、自動車、建設など仕向け先において、需要が回復せず、更に原材料価格の高騰が続く厳しい状況で推移いたしました。このような事業環境のなか、当事業ではシリンダーガスビジネスの持続的な成長や収益の改善を目指し、生産・販売体制の見直しを行ない、地域に密着した営業に努めてまいりました。また、カーボンニュートラル社会の実現に向け、環境負荷の低い液化アンモニアや水素ガス等の供給網整備を進めております。

『溶解アセチレン』は、建設・土木関連の現場及び造船業界向けの出荷数量が減少したものの、原材料価格の高騰による価格改定により、売上高は前年同期を上回りました。『その他工業ガス等』は、全般的に出荷数量は減少しましたが、原材料価格の高騰による価格改定やアルゴンが現場工事及びスポット需要の獲得、エアゾールガスが新規獲得、また、LPガス等の石油系ガスでは輸入価格の高騰に伴う販売価格の上昇によりそれぞれ増加し、売上高は前年同期を上回りました。『溶接溶断関連機器』は、設備工事や工作機械等の受注が回復し、売上高は前年同期を上回りました。『容器』は、消火設備装置向け容器の需要回復と原材料価格の高騰による価格改定により、売上高は前年同期を上回りました。

このほか、設備賃貸の収入を加えた当事業の売上高は321億10百万円（前年同期比12.6%増加）となりました。営業利益は26億41百万円（前年同期比31.5%増加）となりました。

#### ② 化成品事業

化成品事業を取り巻く環境は、原材料価格の高騰や、供給制限、供給不足が続く厳しい状況で推移しました。このような事業環境のなか、当事業では仕向け先への製品の安定供給に努め、また、新しい技術の開発に注力し、環境にやさしい製品や付加価値の高い製品づくりに努めてまいりました。

『接着剤』は、ペガールが木工用が減少したものの、塗料用及び紙用が新製品の開発により増加、シアノンが南米向けが減少したものの、北米向け高機能品が増加、また、韓国・東南アジア向けコンシューマー用の需要が増加、ペガロックが海外向けが中国主要都市のロックダウンの影響により需要が減少しました。売上高は接着剤全般の原材料価格の高騰に伴う価格改定もあり前年同期を上回りました。

『塗料』は、建築用塗料が高機能品の「ウォールバリアシリーズ」や「ビーズコートシリーズ」の伸長や塗料製品の原材料価格の高騰に伴う価格改定もあり増加し、また、エアゾール製品は需要が回復し、売上高は前年同期を上回りました。

このほか、設備賃貸の収入を加えた当事業の売上高は103億20百万円（前年同期比12.4%増加）となりました。営業利益は度重なる原材料価格の上昇の影響を大きく受け4億85百万円（前年同期比45.6%減少）となりました。

#### ③ その他事業

その他事業は、L S I カード関連の需要が減少したものの食品添加物の需要が増加し、価格改定もあり前年同期を上回り、売上高は15億89百万円（前年同期比4.2%増加）、営業損失は56百万円（前年同期は6百万円の営業利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ32億31百万円増加して1,016億32百万円となりました。流動資産は、売上債権や棚卸資産が増加したものの現預金が減少したことにより前連結会計年度末に比べ85百万円減少して、548億89百万円となりました。固定資産は、有形固定資産が増加したことにより前連結会計年度末に比べて33億17百万円増加し、467億42百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ17億58百万円増加して342億57百万円となりました。流動負債は、未払法人税等は減少したものの設備投資にかかる債務が増加したことにより前連結会計年度末に比べ25億53百万円増加し、282億35百万円となりました。固定負債は、長期借入金から一年以内返済予定の長期借入金への振替により前連結会計年度末に比べ7億94百万円減少し、60億22百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、利益剰余金が増加したことにより前連結会計年度末に比べ14億73百万円増加して673億74百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきましては、令和4年5月13日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいており、実際の業績は様々な要因によって予想値と大きく異なる可能性があります。

今後の業績動向を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合は速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和4年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和4年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	23,969	22,903
受取手形及び売掛金	21,067	20,619
電子記録債権	4,308	4,880
商品及び製品	2,944	3,360
仕掛品	613	732
原材料及び貯蔵品	1,631	1,849
その他	555	607
貸倒引当金	△115	△62
流動資産合計	54,975	54,889
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,841	12,378
機械装置及び運搬具（純額）	3,583	4,511
土地	14,990	15,245
建設仮勘定	2,041	1,643
その他（純額）	1,192	1,266
有形固定資産合計	31,649	35,046
無形固定資産	691	671
投資その他の資産		
投資有価証券	9,862	9,668
繰延税金資産	187	161
その他	1,084	1,288
貸倒引当金	△51	△94
投資その他の資産合計	11,083	11,024
固定資産合計	43,424	46,742
資産合計	98,400	101,632

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和4年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和4年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,923	10,724
電子記録債務	7,642	7,806
短期借入金	1,305	1,245
1年内返済予定の長期借入金	10	1,120
未払法人税等	1,331	847
賞与引当金	1,255	1,208
その他	3,213	5,283
流動負債合計	25,681	28,235
固定負債		
長期借入金	4,634	3,803
退職給付に係る負債	7	84
役員退職慰労引当金	24	22
繰延税金負債	1,440	1,395
その他	710	716
固定負債合計	6,816	6,022
負債合計	32,498	34,257
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,885	2,885
資本剰余金	2,811	2,811
利益剰余金	56,038	57,577
自己株式	△200	△200
株主資本合計	61,535	63,074
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,643	3,471
為替換算調整勘定	13	101
退職給付に係る調整累計額	93	101
その他の包括利益累計額合計	3,750	3,673
非支配株主持分	615	626
純資産合計	65,901	67,374
負債純資産合計	98,400	101,632

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年9月30日)
売上高	39,219	44,021
売上原価	28,099	32,379
売上総利益	11,120	11,642
販売費及び一般管理費	8,820	9,198
営業利益	2,299	2,443
営業外収益		
受取利息	3	4
受取配当金	133	149
為替差益	14	261
受取手数料	36	43
その他	257	242
営業外収益合計	446	702
営業外費用		
支払利息	11	13
その他	109	150
営業外費用合計	121	164
経常利益	2,624	2,981
特別利益		
投資有価証券売却益	439	0
その他	5	—
特別利益合計	445	0
税金等調整前四半期純利益	3,069	2,981
法人税、住民税及び事業税	971	926
法人税等調整額	17	58
法人税等合計	989	985
四半期純利益	2,080	1,996
非支配株主に帰属する四半期純利益	14	15
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,066	1,980



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年9月30日)
四半期純利益	2,080	1,996
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	269	△172
為替換算調整勘定	92	87
退職給付に係る調整額	9	7
その他の包括利益合計	372	△77
四半期包括利益	2,452	1,918
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,441	1,903
非支配株主に係る四半期包括利益	11	15

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,069	2,981
減価償却費	1,094	1,203
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	△9
受取利息及び受取配当金	△137	△154
支払利息	11	13
為替差損益 (△は益)	△17	△254
売上債権の増減額 (△は増加)	870	△91
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△423	△705
仕入債務の増減額 (△は減少)	265	△56
投資有価証券売却損益 (△は益)	△439	△0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	74	△47
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△10	△2
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△70	△61
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△32	△27
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△4	△14
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△21	△206
その他	△105	156
小計	4,122	2,724
利息及び配当金の受取額	137	154
利息の支払額	△11	△13
法人税等の支払額	△924	△1,270
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,323	1,594
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△48	△77
定期預金の払戻による収入	21	179
有形固定資産の取得による支出	△1,954	△2,217
投資有価証券の取得による支出	△37	△66
投資有価証券の売却による収入	577	9
その他の支出	△134	△73
その他の収入	28	30
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,549	△2,216
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	30	△60
長期借入れによる収入	—	330
長期借入金の返済による支出	△5	△50
配当金の支払額	△441	△441
その他の支出	△3	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△420	△226
現金及び現金同等物に係る換算差額	13	△148
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,366	△996
現金及び現金同等物の期首残高	21,156	23,672
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	9	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,532	22,676

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 令和3年4月1日 至 令和3年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ガス事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	28,516	9,177	1,525	39,219	—	39,219
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	28,516	9,177	1,525	39,219	—	39,219
セグメント利益	2,008	892	6	2,906	△607	2,299

(注) 1 セグメント利益の調整額△607百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 令和4年4月1日 至 令和4年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ガス事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	32,110	10,320	1,589	44,021	—	44,021
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	32,110	10,320	1,589	44,021	—	44,021
セグメント利益 又は損失(△)	2,641	485	△56	3,070	△626	2,443

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△626百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。